

令和 6 年 第 1 回 議 会 説 明 資 料 (そ の 1)

	ページ
第 1 令和 5 年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計 補正予算案 (第 1 号) 【議案第 1 号】	1

福岡地区水道企業団

第1 令和5年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計補正予算案(第1号)
【議案第1号】

1 収益的収支

(単位：千円、△印：減)

款・項・目	既決予算額	補正額	計	説明
1. 水道用水供給事業収益 (A)	13,016,284	—	13,016,284	
1. 水道用水供給事業費用 (B)	13,035,855	△ 37,436	12,998,419	
1. 営業費用				
2. 送水費	684,887	△ 50,000	634,887	電気料金単価の低下等による動力費の減
3. 特別損失				
1. その他特別損失	920	12,564	13,484	令和5年度山口調整池等災害復旧事業負担金の追加
その他 (本補正以外)	12,350,048	—	12,350,048	
収支差引額 (A)-(B)	△ 19,571	37,436	17,865	

2 資本的収支 補正なし

3 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額	
管路整備工事 (令和5年度分)	令和6年度から 令和8年度まで	補正前の額	4,512,000
		補正額	488,000
		補正後の額	5,000,000

《参考》

■ 営業費用の補正について

令和5年度は、予算編成時と比べ、電気料金単価が低下したことなどにより、動力費に約4億9千万円の不用額が生じると見込んでいたが、令和5年11月以降、異常少雨対応により海水淡水化センターの生産水量を増量したため、約4億4千万円の費用の追加が必要となることから、差引5千万円を減額補正する。

	(A)	(B)	(B) - (A)
施設	電気料金単価の低下等	少雨対応に係る費用	補正額
海水淡水化施設	4.1億円	4.4億円	/
牛頸浄水場	0.3億円	—	
送水施設	0.5億円	—	
計	4.9億円	4.4億円	▲0.5億円

(A) 電気料金単価の低下等とは

- ① 燃料費等調整単価が見込みより低下
- ② 再エネ賦課金単価が見込みより低下
- ③ 国の特別措置による割引の実施
- ④ 4～9月海水淡水化センター生産水量の減少（効率的な水運用）

(B) 少雨対応に係る費用とは

- 海水淡水化センター生産水量の増に伴う動力費・薬品費